

## トルコ観光振興 WG 現地視察 報告書

### ➤ アスペンドスについて

※アンタルヤを基点に、①「アスペンドス」・②「スィデ」・今回は行かなかった③「ベルゲ」遺跡の 1 日でまわれる 3 点セットを組み込むと、ビーチ&遺跡で充実感が増す。

アスペンドスへは、高級ホテルが並ぶコンヤアルトゥ・ビーチから約 1 時間。古代劇場はほぼ完全な保存状態で残っており美しい。おそらく劇場裏の丘からのアングルであれば劇場全体がきれいに写真におさまるだろう。観光所要時間 40～45 分前後。WC チップは 1 リラ。



### ➤ スィデ（古代劇場、博物館、アポロン神殿）について

BC7C ギリシア人によるイオニアの植民地。アスペンドスからバスにて約 30 分。バス P より最終目的地のアポロン神殿まで徒歩 20 分程歩く。途中、博物館(もとローマ浴場)入場、古代劇場入場、土産が並ぶ通りを海岸へ向かって歩くとアポロン神殿へ。アポロン神殿の夕日が素晴らしい。日の入り 17:50 前後（11 月上旬）。入場観光含みトータル観光所要時間約 2 時間 30 分かかる。時間がない場合はアポロン神殿の夕日鑑賞だけでも価値がある。その場合は所要約 1 時間 15 分ぐらいで可能。日が落ちると急に冷え込むため上着必要。



### ➤ アンタルヤ（旧市街カレイチ、プティックホテル、ハドリアヌス門について

【アンタルヤ空港での注意点】：成田からイスタンブール乗り継ぎアンタルヤの場合、荷物受け取りはインターターミナルにて。降機後、バス移動の場合は、インターとドメでバス降場が異なるため注意。

アンタルヤ…トルコ地中海随一のリゾート地。西のコンヤアルトゥビーチと東のララビーチの 2 箇所。ビーチリゾート宿泊の場合は、考古学博物館前がビーチと山脈のコントラストが美しい絶景ビューポイントのためバスをまわし写真ストップすると良い。

旧カレイチ…街の中心。共和国広場～ハドリアヌス門(逆パターンあり)の城内と呼ばれる旧市街を徒歩にて観光。所要約80分。お洒落なカフェや土産や、ブティックホテル・プチホテルなどが並び雰囲気があり散策が楽しめる。ハドリアヌス門…旧市街の入り口にあり、ローマ時代の香り漂う3つのアーチから成る。写真スポット。



Photo if any

➤ サガラッソス、温泉地カラハユットについて

サガラッソス…アンタルヤから所要約2時間。標高1600メートルにある遺跡。山道のため、車酔いする方は酔止薬必要。発掘は1990年より始まるがまだ25%程しか発掘されていない。観光客が入れるようになったのは2010年から。完全な散策道にはなっておらず、足場があまり良くない。特に、最後の劇場の内部は、2回の地震により崩れている箇所もあり、安全面の問題がある。発掘とともに安全管理がもっと進めば、標高1600メートルの高地の遺跡という事で「天空の遺跡」等キャッチフレーズでマチュピチュの様なイメージで売り出せる。素材として非常に面白いと思う。

【観光ルート】レジデンス→風呂→オデオン(1500~2000人収容音楽劇場)→アレクサンダー丘→泉→上のアゴラ(金持ちの方に売る宝石など)→図書館(床のモザイクがエフェスの図書館と同じきれいに残っている)→劇場(ローマ式で9000人収容、4Cと5Cの2回の地震で埋まっている) →出口にWC(フリー)と売店あり。

温泉地カラハユット…

温泉ホテル「DOGA」(ドアテルメル)宿泊。昨年オープンの新しいホテル。部屋のバスルームに温泉がひかれている。(22~24時など時間限定。) お湯は鉄分を多く含み茶色。ホテルから徒歩5分ぐらいの所にマーケット有り、夜遅くまでオープンしている。鄙びた温泉街の雰囲気。 ホテル備品：カードキー(ソケットメインスイッチ)、シャンプー、コンディショナー、シャワージェル、石鹸、ドライヤー、セーフティーボックス、スリッパ、ポット、コーヒー、紅茶、緑茶。 など備品は十分。無料ミネは無し。



Photo if any

➤ パムッカレについて

今回時間的に間に合わなかったが、暮れのピンクに染まった景観が素晴らしいとの事。石灰棚の白色を保つため、水は時々しか流さないとの事で、今回は朝の観光となったが、上の方の石灰棚は水がはっておらず残念であった。

カート(ドライバー付き 1H100 リラ)やバイク(2H40 リラ)のレンタルがあった。



➤ ダルヤン (クルーズ、泥風呂、岩窟墳墓、アオガニ、タートルビーチ) について

ダルヤン川クルーズは約 3 時間程。ボートは 20~30 名乗り、船の最終は冬季 18:00 頃

【ルート】ダルヤン船着場→上陸(ランチ: スープ、サラダバー、メイン魚又はチキン)→上陸(泥風呂: 10 月頃までオープン。水着着用。)→王の墓(崖の壁面にお墓がある)→海がめの餌付け →タートルビーチ(通常は所要約 1H、泳げるのは通常 4、5 月~10 月まで。売店、WC、ロッカー有。過ごし方: ビーチでのんびり OR 海がめを見る)



➤ ホテル (マンダリンオリエンタル、マルマラ) について

【マンダリンオリエンタル】

2014 年オープン。海の景観が素晴らしいデラックスホテル。ホテルは地中海リゾートとして売り出している。場所は中心街から離れているため、ホテルリゾートを満喫する方向き。ハネムーンなど。

STD ルーム 72 m<sup>2</sup>、スイート ルーム(バスタブ・シャワー・ジャグジー付、テラス付)は 93 m<sup>2</sup>~145 m<sup>2</sup>で地中海No.1 の広さ  
レストランは、イタリアン・日本食・トルコ料理はじめ 11 箇所。プライベートビーチは 2 箇所あり。敷地内はバギー移動。  
スパ、ハمامもあり。アクティビティーとしては、オリーブオイル作り体験やオレンジ作り(オレンジパイ)体験などがある。(日本円で 1 万円)。ホテルから 20 分で 9 ホールのゴルフ場あり。

【マルマラ】

中心街へも徒歩圏内。丘の上に位置するお洒落なデザインホテルで、敷地内からの、ボドルム湾とコス島の景観が素晴らしい。無料 Wi-Fi 客室、スパ、フィットネスセンターあり。館内は、絵画や彫刻コレクションが飾られ、トイレにはフランス人建築家デザインの透明のドアなど個性的。ツアーでも利用できる料金体系でおすすめです。



➤ ボドルム（ボドルム城、ランチクルーズ）について

ボドルム城… 15C 初めロドス島を拠点としていた十字軍が築いた要塞。刑務所としても使われた。城塞に登るとエーゲ海と地中海を見渡せる。港に突き出た岬の上に建つ要塞は海に浮かんでる様に見える。城内は、発見された一番古い舟が展示されている水中博物館や、イギリス、フランス、ドイツ塔など各国の名前のついた塔がある。最も高いフランス塔からはボドルムの街全体が見渡せる。12:00～13:00 昼休みで博物館クローズ 注意。

ランチクルーズ…今回は約 2 時間 30 分のクルージング。HERA 号。奥の湾まで行って揺れない所で船上ランチ。

青い海、白い砂浜、ローマ時代の遺跡とイメージ通りのエーゲ海・地中海クルーズ。メニューはシーフードと肉でチョイス可能。

食事也非常に美味しい。



➤ 村の模擬挙式について

チョマクダ村。500 年前の農家のオリーブと家畜の世話で生計をたてる人口 1100 人、350 家族の遊牧民の村。結婚式、お葬式など伝統行事を村民皆で祝う。その結婚式の様子を約 2 時間 30 分にまとめて見せてくれる。最後は、一緒にダンスをしたりでお客様参加型。食事・ミネラルウォーター・チャイのおもてなし。

個人的には非常に興味があり楽しめる内容だと思うが、ツアー組み込みは、村に行くまでに時間がかかるという事と、所要時間がネックになり難しい。

➤ エフェス、聖母マリアの家、博物館、アルテミス神殿跡、シリンジエについて

エフェス遺跡…2015年世界文化遺産。完成度の高いギリシア・ローマ遺跡。大理石の道、図書館、劇場、トイレ、売春宿の表示などイメージがわかりやすいため見ごたえあり。入り口は2箇所。聖母マリアの家の観光後、エフェス遺跡を回る場合は、上から下へ下りながらの観光のため楽、かつ見所を最後にもってこれるのでこちらの順路がおすすめ。今回は下から上へ上りの順路。観光所要時間 約1時間30分。

屋外劇場（直径154m、2万4千収容）→商業用アゴラ（下水システムがしっかりしていた）→図書館（本は残っていない）→娯館→ローマ風呂（水道管が通っていた）→ハドリアヌス神殿→トラヤヌスのいずい→ヘラクレスの門（勝利の女神ニケのレリーフ、羽がVサイン。）→市役所→オデオン→アゴラ。

聖母マリアの家…マリア様の家。中は狭い。家の中は撮影NG。WCあり(フリー)

エフェス博物館…エフェス遺跡からの出土品が展示。所要約1時間。アルテミス像がある。

アルテミス神殿跡…4Cに燃やされ、あまり残っていない。

シリンジエ…標高290Mの丘の上にある古い街並みが残る村。エフェスから30分なので通常のツアーで入れる事が可能。。フルーツワインで有名でワインテイスティングもでき、アロ石鹸、フルーツ(ざくろ・ブルーベリー・プラムなど)石鹸、レース編み、皮製品、アクセサリー、フェルトの小物、雑貨などの小物類の店やカフェが並び散策に適した女性好みのかわいらしい村。ツアーに入れると変化に富んで面白い。

➤ ホテル（スイソティル）について

イズミール街の中心にあるシンボリックデラックスホテル。カードキー（ソケット有）、シャンプー、コンディショナー、シャワージェル、ボディローション、シャワーキャップ、歯ブラシ、爪磨き、石鹸、タオル(3種)、スリッパ、ポット、コーヒーメーカー、コーヒー・紅茶、、体重計、くつみがき、ソーイングセット、セーフティーボックス、バスローブ。部屋の備品は充実。スパは5500㎡の広大な面積を持つ大規模なもので、ハمامもあり。



➤ アクロポリス、アスクレピオンについて…2014年世界文化遺産

アクロポリス…8人乗りのロープウェイで頂上まで約5分。30%だけの発掘。日陰がないため日差し防止対策必要。

すべて大理石の皇帝トラヤヌス神殿。きれいに残っている。移動式舞台が珍しい劇場。所要1時間30分

アスクレピオン…ヘレニズム時代 BC4c。軽度の病気を治すヘルスセンター。観光所要約1時間

➤ TURSAB 主催セミナー、ワークショップについて

ワークショップについて、受け入れ側の話や、現地情報が聞けて良かったが、事前に、参加社概要などが分かるともっと充実度が増す。

➤ その他（ホテル、食事、航空会社等）について

食事：トルコ料理はどの料理も食べやすく、日本人の口に合います。トルコ各地にワインの名産地があるだけあって、トルコ料理との相性も良くどれも美味。特に野菜や果物やフレッシュジュース（ざくろジュース）が美味しい。素材自体が良い。

航空会社：トルコ航空は予想外にも満席。ヨーロッパキャリアを打出し、以遠に力をいれているのが見て取れた。

機内食・アメニティなど充実、乗務員機内サービスも良かった。

➤ 視察先の BEST 5

- ① サガラッソス
- ② シリンジェの街並み
- ③ ボドルム(地中海クルージング、マルマラホテル、マンダリンホテル)
- ④ アクカヤ
- ⑤ パムツカレ

➤ ツアーアイティナリーをお考えください。(最低 1 つ、複数可)

- ① 成田⇒②イスタンブール乗り継ぎアンタルヤ。着後、旧市街カレイチ観光。〈アンタルヤ：クラウンプラザ泊〉③アスペンドス、スイデ、ペルゲ遺跡終日観光。〈アンタルヤ：クラウンプラザ泊〉④アンタルヤーバスにてー聖ニコラス教会、ミユラ遺跡ーカシュ 〈カシュ泊〉⑤カシューバスーカプタッシュー世界遺産クサントス遺跡、レトゥーン遺跡ーバスーキョイジェイズ湖畔のスルタニエ温泉 美肌効果のある泥風呂をお楽しみーボドルム 〈ボドルム：マルマラホテル泊〉⑥ボドルム自由行動。(op ボドルム城、地中海クルージングなど) 夜 ボドルム⇒イスタンブール〈イスタンブール泊〉⑦イスタンブール観光後、空港へ⑧イスタンブール⇒成田

➤ トルコの需要喚起（課題、対策、要望等など自由にご記入ください。）

- ① 政府観光局の設置。
- ② 危ないというイメージをどう払拭するか。実際に訪れると、観光として行く場所は限られるため全く問題なく、逆に他のヨーロッパの都市よりも治安の面で安心感があるぐらいだが、安全だというアピールをどうしていくかが大きな課題。
- ③ 2 回目のトルコとして、地中海、エーゲ海のリゾートを打ち出して行く為に。  
⇒マスコミ・航空会社・旅行等の業界が一丸となりイメージ戦略を展開していく必要がある。テレビ・CM・女性誌ファッション雑誌、若いタレントやモデルの起用など。リゾート・グルメ・スイーツ・スパ・アロマ製品・雑貨など軽いテーマからトル

コを打ち出す。

⇒近隣のヨーロッパリゾートとどう差別化していくか。トルコの親日的な部分、ホスピタリティーの高さ、物価の安さは他ヨーロッパリゾートにはない大きな魅力。

④ 素晴らしい遺跡がたくさんあるが、商品化のためには安全管理が重要な課題。

➤ 研修旅行についての感想（よかった点、改善点、要望など自由にご記入ください。）

現地で開発機構の方々に入れ替わり同行いただき、極め細やかに対応いただいた事、感謝致します。知識豊富な参加者の方々に様々な情報をいただきながら、非常に充実した研修となりました。少人数だった事も、臨機応変に動け良かったです。今回の行程内容は、リゾート地や新素材の遺跡、従来の王道ツアーの観光地と、いい所取りをした行程で大変充実していましたが、欲を言えば、商品造成の立場から致しますと、例えば、【2回目のトルコ・リゾートとしての魅力】などテーマを絞っていただき、実際にツアーとして仕上げた際に商品として成り立つのかという様な点も感じられればもっと良かったと思います。ポーションポーションだけでなく、コース取りも重要なので、例えばアンタルヤ～ボドルムへ海岸ルートを走った場合に、どのような印象のツアーになるのか、道中の見所があるのかなど。又、リゾート地としての比較対照として、当初訪問予定のマルマリスやディディムなども見せていただければ更に充実していたと思います。帰国直後、G20でアンタルヤの露出が増えると同時に、逆に、ISがらみ等の様々な悪いニュースも流れ、不安定感を感じずにはられません。一日も早くイメージ払拭することを願い、タイミングを逃さず商品造成・送客に努めたいと思います。お世話になりました関係各所の方々に心より御礼申し上げます。